

新宿御苑の開園時間延長や入園料金改定等に関するお知らせ

新宿御苑の魅力向上の取組については順次実施していくこととしており、今般開園時間の延長、八重桜のライトアップ、国指定重要文化財である旧洋館御休所の通年開館、入園料金の改定について詳細を決定しましたのでお知らせいたします。

1. 開園時間の延長

これまで1年を通じて16:30であった開園時間について、本年3月19日(火)から18:00(最終入園時間17:30)まで延長します。

開園時間の延長により、新宿御苑から望む夕景の鑑賞や夕涼み、仕事帰りの気分転換等にも活用いただけます。

※延長期間は9月30日までとなります。

※また、特に日の長い夏期の7月1日から8月20日までの間は19:00(最終入園時間18:30)までさらに延長します。



新宿御苑の夕景

2. 八重桜ライトアップの実施

新宿御苑には約65種類約1000本の桜が次々と競うように開花します。

中でも一葉(イチヨウ)や普賢象(フゲンゾウ)、関山(カンザン)などの八重桜は新宿御苑の特徴の一つとなっています。そこで八重桜が開花する4月中旬をメドに10日間程度、桜のライトアップを実施します(八重桜の開花予想時期に合わせて実施するため、詳しい日時は追って公表します。)

ライトアップの実施時間は19時~21時の予定です。



八重桜の様子(4月中旬)

※ライトアップは通常の入園料金で入園いただけます(当日の再入園の場合、再度の入園料金の支払は不要です。)

※今後、毎年11月前半に開催される皇室ゆかりの菊花壇展開催時や11月下旬から12月にかけての紅葉時期のライトアップも実施を検討中です。

3. 旧洋館御休所の通年開館

ゴールデンウィークに合わせて、4月下旬から国指定重要文化財である旧洋館御休所の通年開館を実施します。現在月2回のところ、週3回程度の開館といたします。

※旧洋館御休所：天皇陛下や皇族方が新宿御苑内の温室で植物を観賞する際の休憩所として明治29年（1896年）に創建されました。建物は宮内省内匠寮（たくみりょう）により設計され、当時アメリカで流行した建築様式であるスティック・スタイルを基調に建設されています。大正後半からは主に皇室のスポーツ後のクラブハウスとして使用され、大正13年の増築によりほぼ現在の規模・仕様が整いました。



旧洋館御休所

4. 入園料金の改定

3月19日から新たに下記のとおり入園料金を改定いたします。詳細が決まっていなかったシルバー・学生割引について、料金を250円とし、積極的に来園いただけるような料金設定としました。また、年間パスポートの料金は据置きとしています。

通常料金	一般	500円
	一般 団体	400円
	シルバー（65歳以上） 学生（大学生、専門学生、高校生）	250円
	中学生以下	無料
年間パスポート	18歳以上（高校生を除く）	2,000円
	高校生	1,000円
	中学生以下	無料

※一旦退園した後も当日の再入園が可能です。

今後とも多言語化を含む案内の充実、レストランや休憩所等の施設の更新等の魅力向上策を順次実施していく予定であり、旧皇室庭園としての価値を後世に残しつつ、新宿御苑のさらなる質の向上とサービスの充実を継続的に図ってまいります。